



2015年3月期第3四半期 決算説明資料

2015.2.2

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.



(2015年2月2日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・ITHD企画本部長の柳井です。よろしくお願いいたします。

2015年3月期第3四半期 業績概要

2015年3月期 業績見通し

参考資料

- ・本日15:30に発表いたしました、第3四半期決算の内容を中心に、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2015年3月期第3四半期(累計)
業績ハイライト

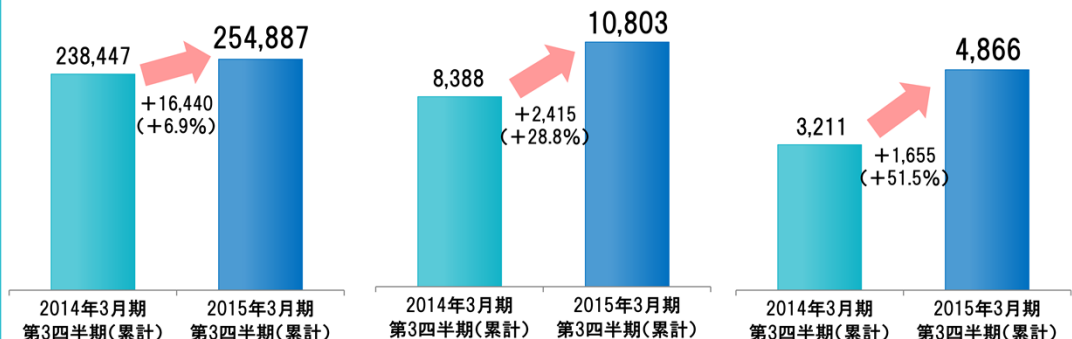
(単位:百万円)

- ・売上高は、好調な事業環境等を背景に前年同期比増収。
- ・利益面は、増収効果や不採算案件の抑制等により、前年同期比大幅増益。

売上高 254,887百万円
前年同期比 +16,440百万円(+6.9%)

営業利益 10,803百万円
前年同期比 +2,415百万円(+28.8%)

四半期純利益 4,866百万円
前年同期比 +1,655百万円(+51.5%)



顧客のIT投資ニーズを的確に捉える等、好調に推移。主要3セグメントの全てにおいて前年同期比増収。

増収効果や不採算案件の抑制等が複数の大型開発案件の獲得および遂行に向けた体制強化に係る費用等を吸収。前年同期比で大幅に増加。

営業利益の増加に伴い、四半期純利益についても前年同期比で大幅に増加。

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

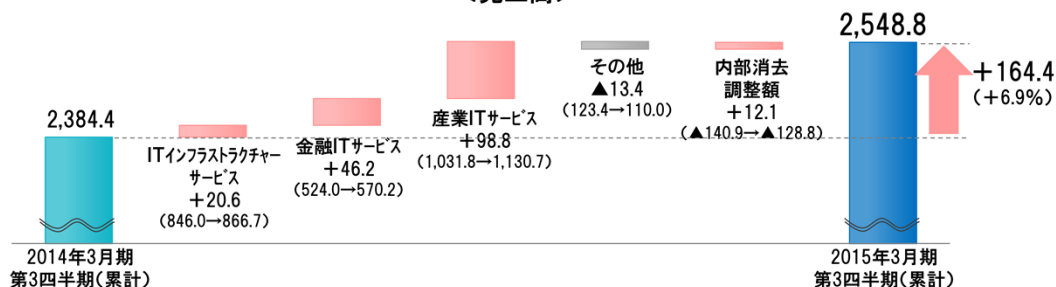
2

- ・まず、第3四半期累計の業績についてです。全体的に好調であったということができると思います。
- ・売上高は、好調な事業環境を背景に、2,548億円となり、前年同期比で164億円、6.9%の伸びとなりました。
- ・利益面は、営業利益が108億円、四半期純利益が48億円となり、それぞれ前年同期比で大幅に増加しました。これらは、増収効果や不採算案件の抑制が大型開発案件の獲得や体制整備に係るコスト等を吸収したことが主な要因です。
- ・増収効果の一部を構成する工事進行基準の適用案件の増加影響は、売上高で33億円、営業利益で9億円でした。また、当第3四半期の不採算案件は、前年同期比10億円減少の6億円でした。まだ課題はありますが、品質向上の施策等によって一定のコントロールが進んだものと考えています。

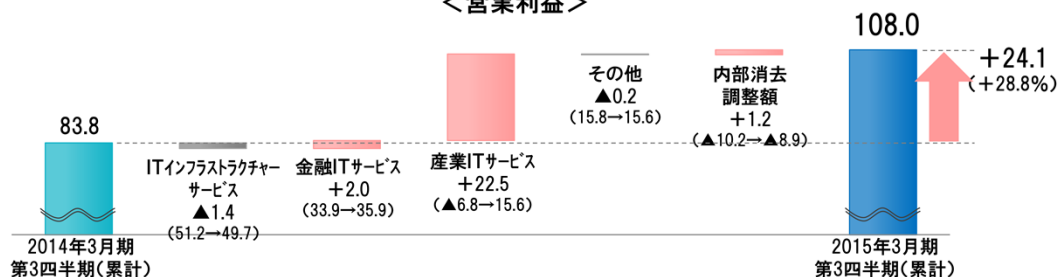
2015年3月期第3四半期(累計) 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

3

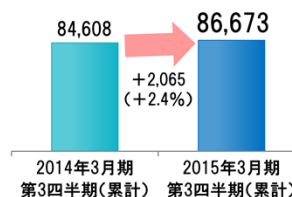
- ・セグメント別の状況について、売上高は主要3セグメントの全てで前年同期比増収となりました。金融ITサービスではカード系が牽引し、産業ITサービスでは全般的に伸びています。これは5ページ記載の業種別売上高の状況からもおわかりいただけるかと存じます。
- ・セグメント別の営業利益については、ITインフラストラクチャーサービスが前年同期比で若干の減益となりました。これは前年同期に高利益率であったBPOの特需の剥落や一部既存先の規模縮小の影響が続いたこと等によるものです。一方、金融ITサービスと産業ITサービスについては、前年同期に比べて利益を伸ばしており、特に産業ITサービスでは不採算案件の抑制等が寄与しています。

2015年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

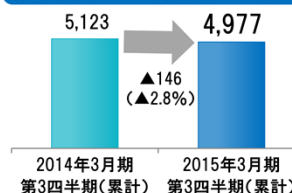
(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 86,673百万円
前年同期比 +2,065百万円(+2.4%)



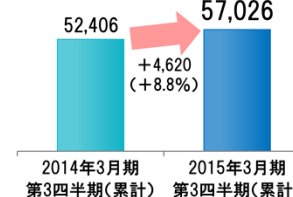
営業利益 4,977百万円
前年同期比 ▲146百万円(▲2.8%)



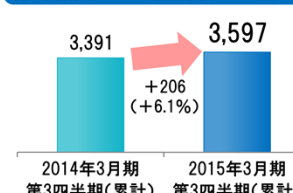
データセンター事業の堅調な推移により前年同期比増収となったが、一部既存先の規模縮小の影響等により、前年同期比減益。

<金融ITサービス>

売上高 57,026百万円
前年同期比 +4,620百万円(+8.8%)



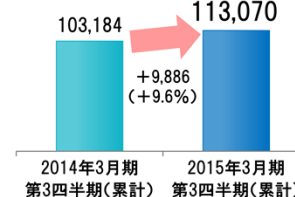
営業利益 3,597百万円
前年同期比 +206百万円(+6.1%)



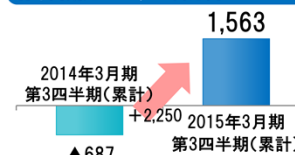
顧客のIT投資拡大の動き等により、前年同期比増収。増収効果等が大型開発案件の獲得及び遂行に向けた体制強化に係る費用等を吸収し、前年同期比増益。

<産業ITサービス>

売上高 113,070百万円
前年同期比 +9,886百万円(+9.6%)



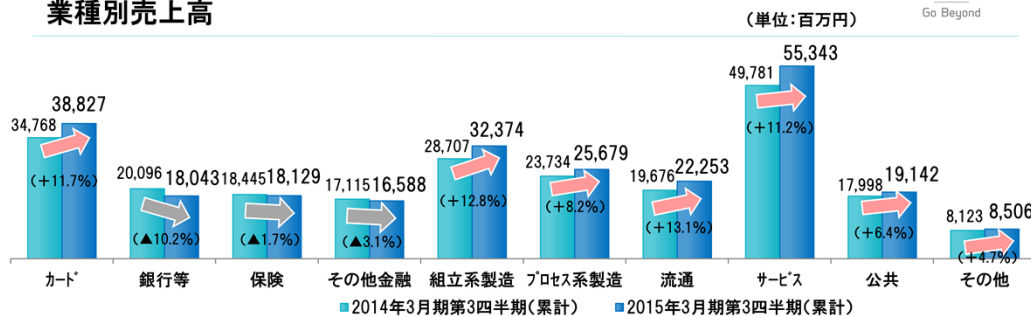
営業利益 1,563百万円
前年同期比 +2,250百万円



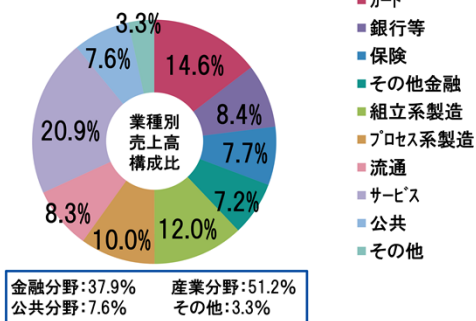
幅広い業種で好調に推移し、前年同期比増収。増収効果や不採算案件の抑制等が利益率の低い販売系案件の増加や大型開発案件を含む提案活動に係る費用の増加等を吸収し、前年同期比大幅増益。

(説明省略)

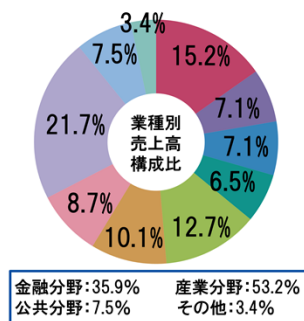
2015年3月期第3四半期(累計) 業種別売上高



<2014年3月期第3四半期(累計)>



<2015年3月期第3四半期(累計)>



(説明省略)

2015年3月期第3四半期(累計)

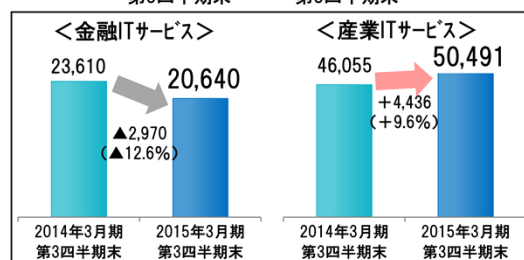
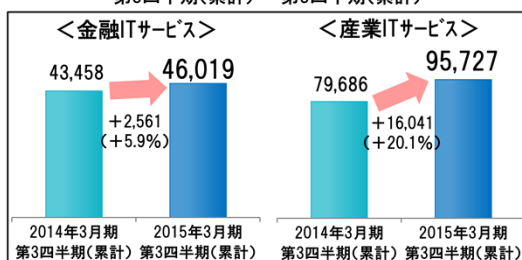
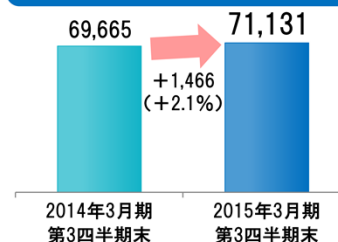
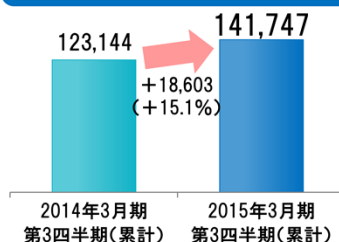
受注状況

(単位:百万円)

- ・受注高は公共系の大型案件の計上が牽引し、前年同期比大幅増。
- ・受注残は受注高増加の一方で消化も進んだことから、前年同期比微増にとどまる。

当期受注高 141,747百万円
前年同期比 +18,603百万円(+15.1%)

期末受注残 71,131百万円
前年同期比 +1,466百万円(+2.1%)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

当期受注高・期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

6

- ・次に、第3四半期累計の受注状況です。
- ・受注高は、第3四半期に産業ITサービスに含まれる公共系の大型開発案件125億円の計上が牽引する形で1,417億円と、前年同期比で186億円の増加となりました。金融ITサービスも増加しており、主にはカード系ということです。
- ・期末受注残は売上高の増加に伴って消化も進みましたが、受注高が増加したこともあって、前年同期比プラスの711億円となりました。

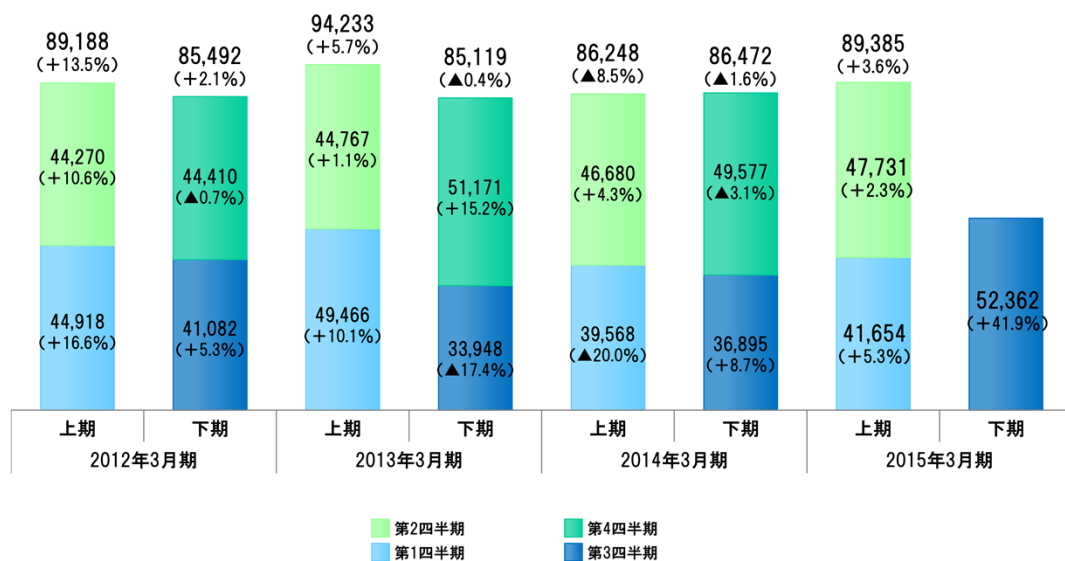


IT HOLDINGS

Go Beyond

受注高の推移

(単位:百万円)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

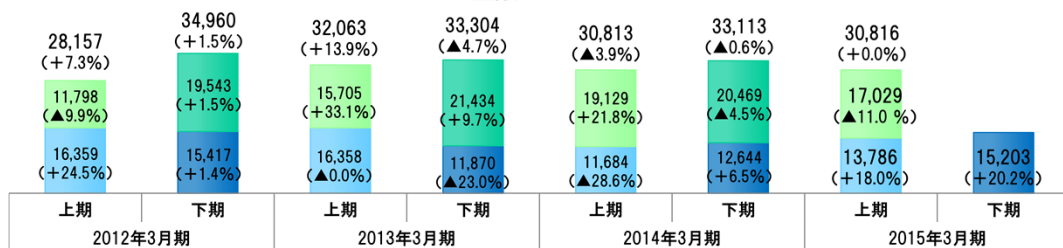
7

- ・受注高の経年推移をグラフにしたものです。当第3四半期が過去に比べても強かった状況がご覧いただけるかと思いますが、第4四半期に向けての見通しも前年同期並みの堅調な形の受注高を見込んでいます。

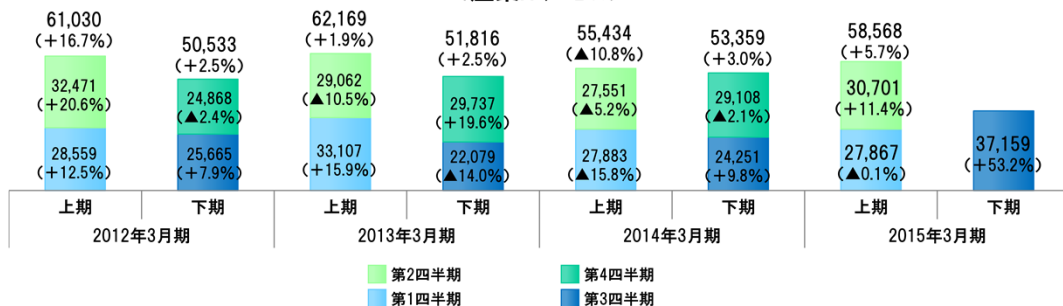
受注高の推移

(単位:百万円)

<金融ITサービス>



<産業ITサービス>



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

8

(説明省略)

2015年3月期第3四半期 業績概要

2015年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2015年3月期通期 業績予想ハイライト

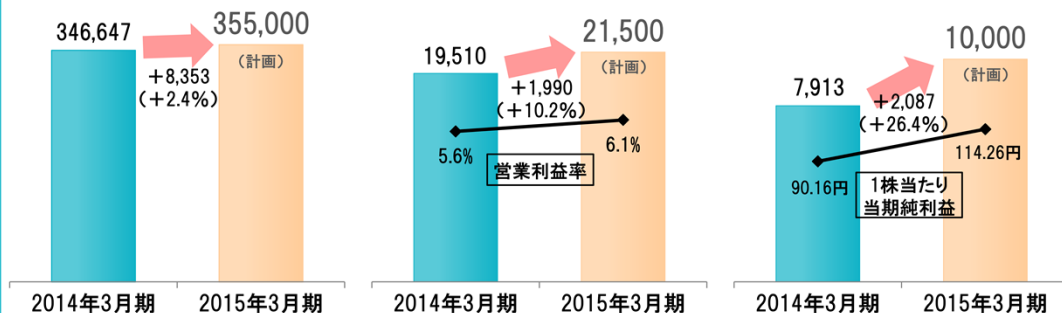
(単位:百万円)

・概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更なし。

売上高 355,000百万円
前期比 +8,353百万円(+2.4%)

営業利益 21,500百万円
前期比 +1,990百万円(+10.2%)

当期純利益 10,000百万円
前期比 +2,087百万円(+26.4%)



金融ITサービス及び産業ITサービスを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

増収効果、不採算案件の発生防止や生産性の改善等により、増益を見込む。

営業利益の増加や特別損失の減少等により、前期比増益を見込む。

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

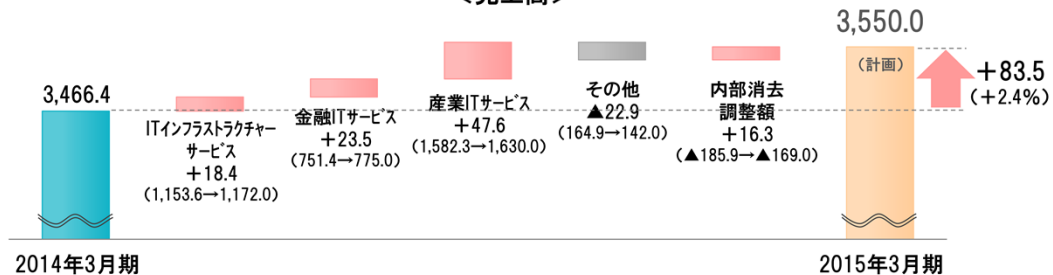
10

- ・通期業績見通しですが、期初計画からの変更はありません。売上高3,550億円、営業利益215億円、当期純利益100億円の達成を目指してまいりたいと考えています。
- ・売上高については好調に推移しているということもあり、利益面については、上期時点ではやや進捗が芳しくないということもありましたが、第3四半期累計では概ね期初計画に沿う状況に戻ったと考えています。

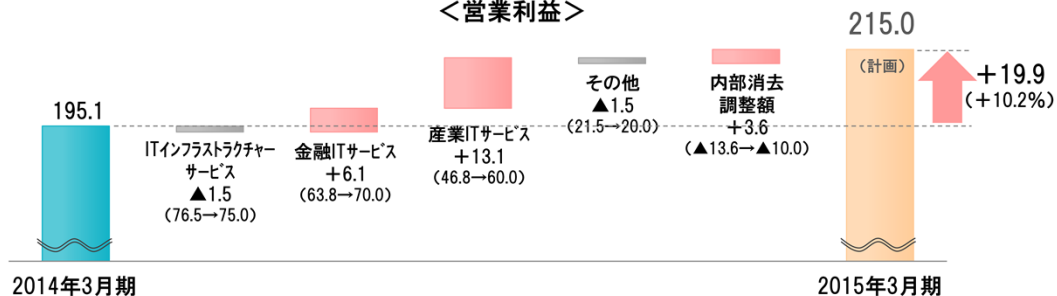
2015年3月期通期
売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



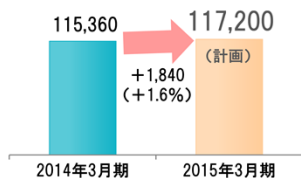
(説明省略)

2015年3月期通期
主要セグメント別損益状況(予想)

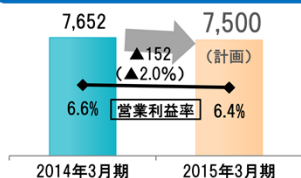
(単位:百万円)

ITインフラストラクチャーサービス

売上高 117,200百万円
前期比 +1,840百万円(+1.6%)



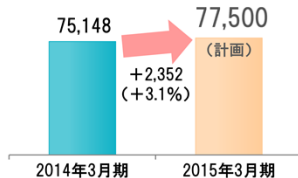
営業利益 7,500百万円
前期比 ▲152百万円(▲2.0%)



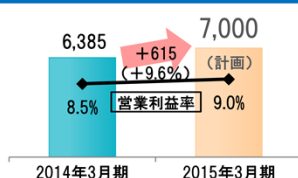
データセンター事業・BPO事業の安定推移から前期比増収を見込むが、設備費用の負担増等により、営業利益は前期比減益見込み。

金融ITサービス

売上高 77,500百万円
前期比 +2,352百万円(+3.1%)



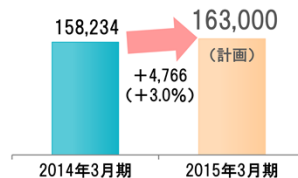
営業利益 7,000百万円
前期比 +615百万円(+9.6%)



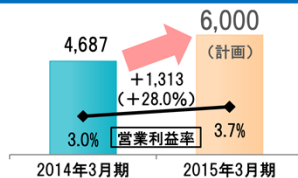
クレジットカードを中心とした金融業界全体の需要増に伴うIT投資の増加により、前期比増収増益を見込む。

産業ITサービス

売上高 163,000百万円
前期比 +4,766百万円(+3.0%)



営業利益 6,000百万円
前期比 +1,313百万円(+28.0%)



全体的なIT投資増加に伴う事業拡大に加え、不採算案件の発生防止や生産性の改善等により、前期比増収増益を見込む。

(説明省略)

2015年3月期第3四半期 業績概要

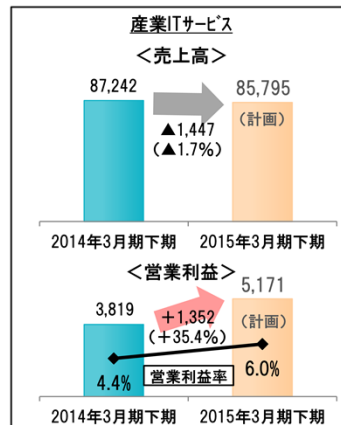
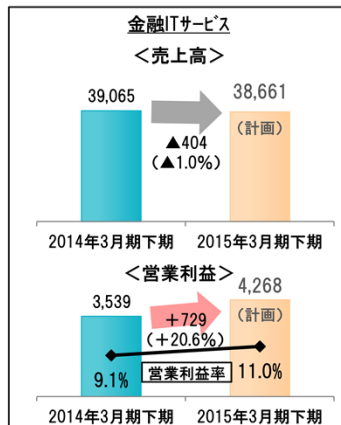
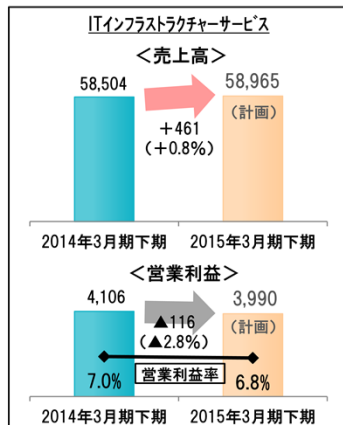
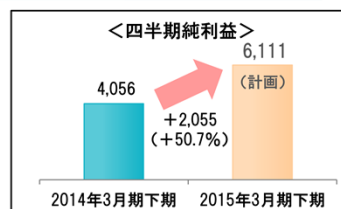
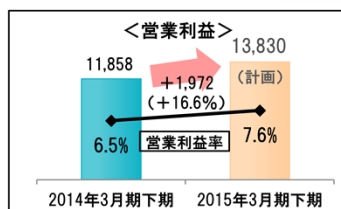
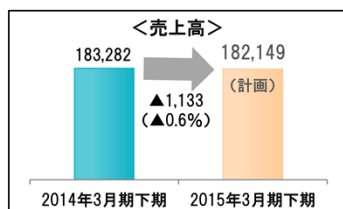
2015年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2015年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

14

(説明省略)

2015年3月期第3四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ



発表日付	タイトル
2014年10月1日	お客さまとEINS WAVEを直結するネットワークサービス「データセンターアクセスネットワーク」を提供開始(インテック)
2014年10月1日	TIS、グループ子会社間の合併を実施(TIS)
2014年10月6日	TISとネオアックスが、AIX/IBMシステムに特化したクラウドサービス「TIS XiCloud」の提供を開始(TIS)
2014年10月10日	インテックのクラウドサービスが「第8回 ASP・SaaS・クラウドアワード2014」を受賞(インテック)
2014年10月21日	TIS、データ・ディスカバリーの「Feasibility(実行性検証)サービス」を無償で提供開始(TIS)
2014年10月22日	インテックとウェブルート、法人向けエンドポイントセキュリティサービスで協業(インテック)
2014年10月23日	アグレックスとのれんがコンテンツ・マネジメント分野で協業(アグレックス)
2014年10月27日	オリックス・クレジットが、TISの「TIS CTI Cloud」を採用(TIS)
2014年10月29日	Webセルフサポート+電話の連携による次世代型サポートソリューション「QAPhone」の提供を開始(TIS)
2014年10月30日	子会社である株式会社アグレックス株券等(証券コード4799)に対する公開買付けの開始に関するお知らせ(ITHD)
2014年10月30日	支配株主であるITホールディングス株式会社による当社株券等に対する公開買付けに関する賛同及び当社普通株式の応募推奨に関する意見表明のお知らせ(アグレックス)
2014年10月30日	平成27年3月期期末配当予想の修正及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ(アグレックス)
2014年11月4日	より安全性の高い暗号化通信技術「SHA-2」に対応したパブリックWebサーバ証明書を提供開始(インテック)
2014年11月5日	TISの「Cloud Berkembang」を、インドネシアのパッケージベンダーANDAL SOFTWARE社が採用(TIS)
2014年11月10日	中部テレコミュニケーションの「Oracle E-Business Suite」R12へのアップグレードを支援(TIS)
2014年11月11日	TIS、IBMのクラウド「SoftLayer」構築運用支援サービスの提供を開始(TIS)
2014年11月11日	インテックの広域仮想クラウドサービス(EINS WAVE)の一部としてIBMのクラウドサービス(SoftLayer)を活用(インテック)
2014年11月14日	マネーパートナーズ、海外利用専用プリペイドカード「マネバカード」のシステムにTISの「PrepaidCube+」を採用(TIS)
2014年11月19日	登米市における災害時の自治体及び住民間の情報共有システムの実証実験を実施(TIS)
2014年11月20日	スカパーJSATのクラウド・ストレージサービス「S*Plex3」を譲受し、広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」のサービスとして提供開始(インテック)
2014年12月1日	TIS、タイに現地法人を設立(TIS)
2014年12月9日	宅配ポータルサイト「出前館」を運営する夢の街創造委員会と資本・業務提携(インテック)
2014年12月12日	アサヒグループ、食品関連会社に「MCFrame」を標準として採用(インテック)
2014年12月16日	子会社である株式会社アグレックス株券等(証券コード4799)に対する公開買付けの結果に関するお知らせ(ITHD)
2014年12月16日	支配株主であるITホールディングス株式会社による当社株券等に対する公開買付けの結果に関するお知らせ(アグレックス)
2014年12月18日	TIS、「IBM Insight 2014」でEnterprise Content Managementを受賞(TIS)
2014年12月22日	臨時株主総会及び普通株主による種類株主総会招集のための基準日設定に関するお知らせ(アグレックス)
2014年12月24日	TIS、「Oracle OpenWorld 2014」でTravel & Transportation Industry Excellence Awardを受賞(TIS)

(説明省略)



(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

- ・最後に、我々が関係する3つの大型開発案件の状況と、アグレックスの完全子会社化に向けた施策の進捗状況について補足でご説明します。
- ・公共系の大型開発案件は、受注状況のところでもご説明したとおり、すでに受注してプロジェクトが始まっており、カード系の大型開発案件2つのうちの1つも要件定義工程を受注して進めているところです。
- ・カード系のもう1つの大型開発案件については、非常に案件規模が大きいということもありお客様の方での慎重な検討が続けているところであり、我々としては、案件開始前の検討段階への協力が今しばらく続く見込みです。このため、案件開始に備えて構築した体制については一旦縮小させることとし、リソースのシフトを行っています。
- ・また、アグレックスの完全子会社化に関しては、昨年実施した公開買付けの結果、持株比率は93.3%となりました。残りの分は、今後のスクイーズアウトの手続きを通じて、早期に完全子会社化を完了させたいと考えています。

- ・以上で、説明を終了させていただきます。